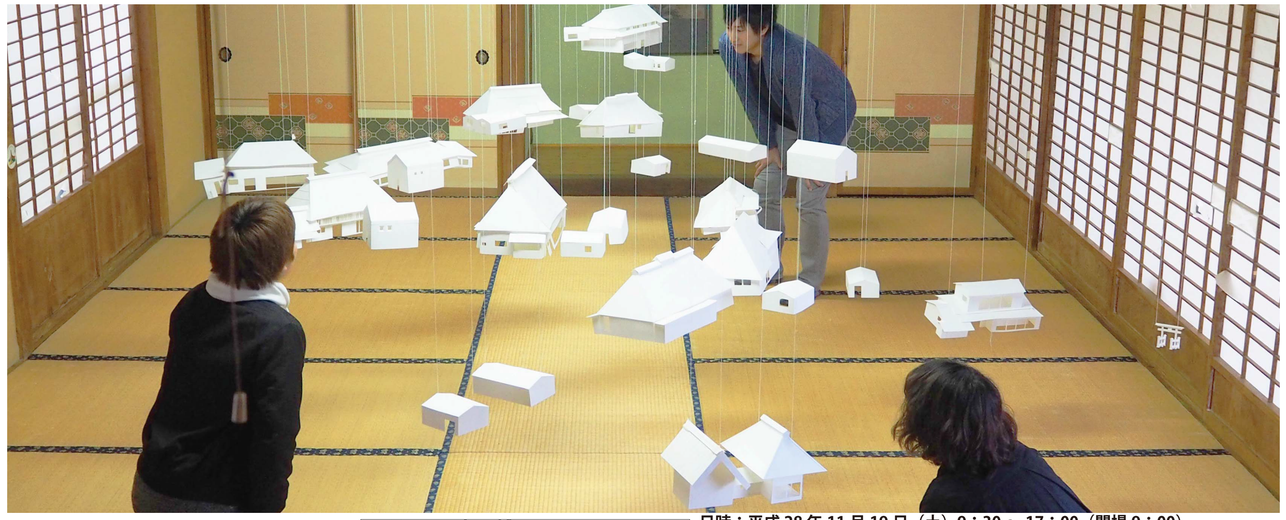
平成 28 年度
地域戦略プロフェッショナル・ゼミ
中山間地域の未来学Ⅲ

第 7,8 回【フィールド実習フェーズ③】

「模刻民家―紐解く集落の生活景」

信州大学 SHINSHU UNIVERSITY
文部科学省 地(知)の拠点
信州大学 地域戦略センター
ラボ



日時：平成 28 年 11 月 19 日（土）9：30 ～ 17：00（開場 9：00）
会場：長野市小田切地区久保集落　下宮野尾区公民館（長野市塩生乙 2810）
講師：寺内 美紀子　建築家・信州大学工学部建築学科准教授
ＴＡ：福嶋史奈・上田彬央・杉浦友裕・山田一眞・高薄英理・三塚航平
協力：長野市小田切支所・小田切地区住民自治協議会・小田切地区下宮野尾区の皆さま・久保集落の皆さま、中山間地域の未来学 第１期・第２期修了生
主催：信州大学　　共催：長野県、長野市　　統括：新 雄太

課題

今回のテーマは「集落を丁寧に見る」ということです。集落の中心的要素である民家をじっくり観察し、すがた・かたちを紙で再現します。集落は民家だけではありませんから、それ以外のものに着目するのもよいでしょう。とにかく、「穴があくほど」見つめてもらいます。そして、できるだけ丁寧に模型として再現します。さらに、模型を持ち寄って、ひとつの空間にインスタレーションします。そこに浮かび上がる模型群は集落そのものの写し取りです。集落の中に身をおいて、様々な角度から集落を眺めます。今回のフィールドワークは集落を切り開き、外からは分からない関係性の体験です。

集落と古民家の観察方法

集落と古民家の調査方法の一例としては、民家の平面図を集落全体で連続的に把握する方法や、架構模型を制作することで把握します。

ですが今回の講義では、古民家の形状や素材の特徴をつかむことに重きを置くことを目的とします。そこで手がかりとなる情報を観察して得た視覚情報のみに絞ります。また模型においても、白模型という表現にすることで色以外の開口の位置や屋根形状等を重点的に表現することを目的とします。

五個荘集落全体平面図
（法政大学建築学科宮脇ゼミナール）

小谷村　築 150 年の農家
（信州大学梅干野研究室）

集落観察 07.　【観察】民家のすがた・かたち

09:30 ➔ 10:00
○講座概要説明
○ショートレクチャー
「民家の見方・測り方・表し方」
講師：寺内 美紀子 氏
信州大学工学部准教授

10:00 ➔ 12:00
○フィールドワーク（久保集落へ）
２人一組のチームでそれぞれ担当の民家を観察します。学生 TA がサポートしますので、どしどし質問してください。伏図等をメモに取り写真に記録し、民家のすがた・かたちを把握します。

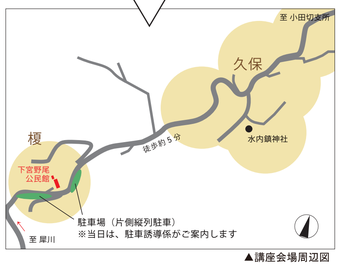
12:00
【昼食】下宮野尾公民館
昼食は各自でお持ちください。
温かいお茶をご用意いたします。
おかえり！

制作披露 08.　【表現】模型に刻む宙吊り集落

13:00 ➔ 16:00
○民家紙模型の制作
会場：下宮野尾公民館
一つ一つが暮らしのデザインの宝庫である民家。午前中、穴があくほど観察したそれぞれ担当の民家を縮尺 1/50 でケント紙を用いて制作します。
○全模型の設置（天井から模型を吊るす）

16:30 ➔ 17:00
○久保集落の模型 お披露目・意見交換
民家の配置・方角・高低差等の建ちかたを俯瞰し、集落の構成等から久保集落の生活景を（焼き芋片手に）考えます。

▲当日スケジュール



▲講座会場周辺図

▲長野市小田切地区久保集落の模型製作対象民家

▲久保集落内にある民家の屋根の様子

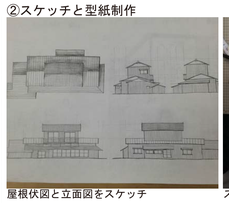
▲久保集落航空写真

①観察

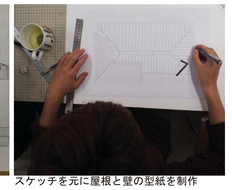
正面から見る（正対象）、遠くから観察

近くから観察、材料の違いや、形に注目

②スケッチと型紙制作

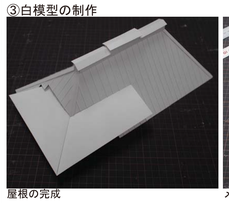


屋根伏図と立面図をスケッチ



スケッチを元に屋根と壁の型紙を制作

③白模型の制作



屋根の完成

メインボディとなる壁を立ち上げる

④白模型の完成

屋根と壁を接合する

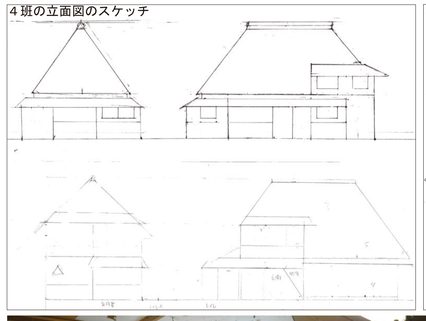
完成

⑤模型の吊り下げ

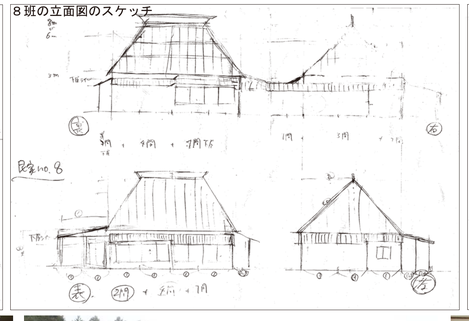
天井に貼られた地図から吊るしを表現

標高に合わせて、天井からぶら下げて完成

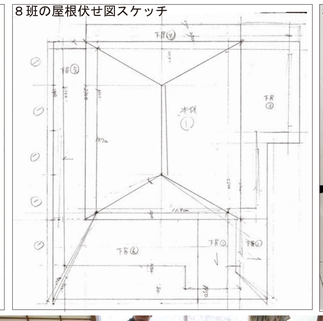
4 班の立面図のスケッチ



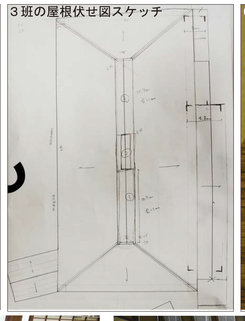
8 班の立面図のスケッチ



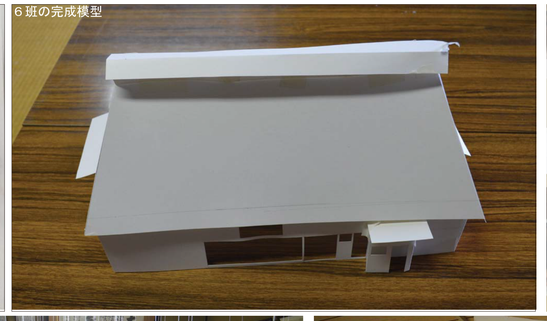
8 班の屋根伏せ図スケッチ

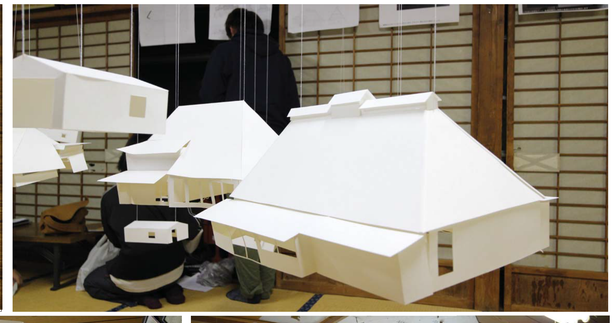


3 班の屋根伏せ図スケッチ



6 班の完成模型





①スライドレクチャー
講師寺内先生によるレクチャーで古民家の観察方法や、集落の歩き方、白模型の制作方法を学びました。

②現地散策
集落を歩き、古民家を観察します。普段歩くことのないような場所を探し古民家を正面で見られるポイントを探し、屋根や全体の構成を把握します。

③模型製作
②で行った観察とスケッチ・写真などを元に立面図と屋根伏図を起こします。次にケント紙にそれらを描きこむことで白模型の型紙を制作します。

④模型展示
完成した白模型を天井から垂れ下がった糸に吊るすことで標高を表現します。受講生が作った白模型が集まることで集落の様子が見えてきます。

⑤インスタレーション完成
完成したインスタレーションを囲み各受講生がこの講義で学んだことを話し合いました。また地域の方々の意見や感想をいただきました。

⑥集合写真
公民館に民家や倉庫などの模型が吊られ、集落の様子が浮かび上がりました。集落や古民家をじっくり観察すること、模型を作ることの意味を考えることができました。